



製品カタログ

Infor Production Scheduling

フローを管理する

混合、調合、醸造、調理、化合、蒸留といった生産プロセスを持つメーカーは、生産工程のスケジューリングにおいて、他の業界と異なる課題を抱えています。こうしたメーカーは、制約ベースのスケジューリングを行うことで、容器やタンク、生産ラインの容量キャパシティといった生産リソース、それらをつなぐ製品フローを最適化できなければなりません。

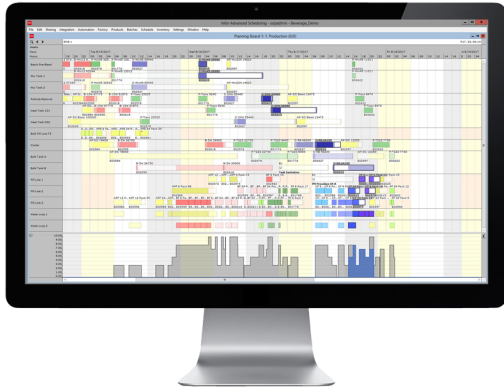
すべての関係者が、同じスケジュールで同時に作業できるようなコラボレーティブな環境があれば、生産リソースを最適化して、キャパシティを最大化し、ダウンタイムを最小限に抑えることが容易になります。また、主要なパフォーマンス指標をすばやく簡単に確認できれば、スケジュールを効率化するための正確な情報を即座に手に入れて、より優れた意思決定をスピーディに実行できるようになります。Infor® Production Schedulingは、これらすべてのことを実現することができます。

Infor Production Schedulingがあれば、制約ベースのスケジューリングを使って、容器やタンク、生産ラインのキャパシティといった生産リソース、それらをつなぐ製品フローを最適化することができます。

オペレーションを同期させる

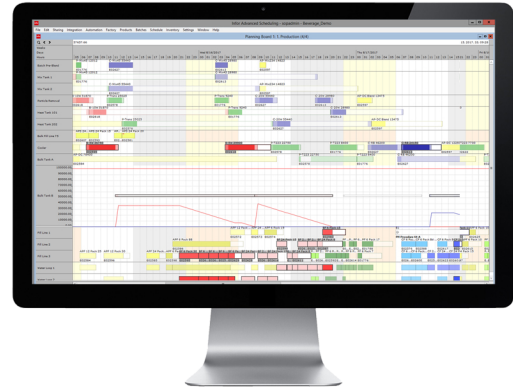
Infor Production Schedulingのパワフルな制約ベースのロジックと最適化機能を組み合わせれば、あらゆる相互依存関係を考慮した上で、すべての生産ラインのオペレーションを同時にスケジューリングして同期させ、段取りやチェンジオーバー(切替え)にかかるロスタイムを短縮することができます。さらに、食品や飲料、化学、製薬、バイオテクノロジーやその他多くの消費財業界で25年以上もの間、お客様を支援してきたインフォアの実験を活かすことで、生産コストを削減し、納期遵守率を改善することができます。

図 1



プロセスが同期化されたインタラクティブなガントチャート

図 2



流入・流出量を考慮したタンクスケジューリング

より効率的にスケジューリングする

Infor Production Schedulingは、汎用的なERPソフトウェアや組立製造をベースとしたスケジューリングシステムとは異なり、レシピ管理や副産物・連産品管理、歩留まり損失に対応できます。また、次のような独自の機能を使って、タンクやサイロのキャパシティ制約、その間を流れる製品フローを管理することができます。

- 可変流量
- 発酵と熟成 の制約
- 保管上の制約
- 製品によって異なる 混合と充填の制約
- 流動的なボトルネック

Production Schedulingは、品質保持期限や重複プロセス、定置洗浄(CIP)を含めたバッチプロセス生産環境におけるあらゆる要因を考慮し、最も効率的、タイムリーかつ収益性の高い方法で顧客の需要を満たせるような生産スケジュールを策定できるように支援します。

最適化—変化に即座に対処する

顧客の要求は変化し続けます。しかし、Production Schedulingがあれば、予測不能な需要が起きても、それに対処するまでの時間を短縮することができます。変更があれば、自動最適化技術と直観的でグラフィカルな計画ボードを使って、スケジュールを即座に調整することができます。

コラボレーティブなスケジューリング機能を使えば、関係者全員が同じスケジュールで作業し、変更をリアルタイムに確認することができます。計画担当者たちが連携しながらスケジュールを調整できるということは、複数の変更に柔軟に対応して、異なる生産部門間で競合するスケジュールを調整できるということです。また、活動を止めずに生産スケジュールを調整することが可能であり、最も効率的なフローを確保してダウンタイムを最小限に抑えられるように、スケジュールを最適化して精度を維持することができます。

生産性の改善—パフォーマンス改善を促進する

リソースを最適化するためのもうひとつの方法は、生産活動の効率性を改善することです。そのためには、パフォーマンスを測定し、最も改善が必要な領域を特定する必要があります。

ワンクリックでSchedule Performance Dashboardにアクセスすれば、逸脱するオーダーが色分けされており、生産オペレーション全体のリアルタイムなパフォーマンス概要をひとつの画面で把握することができます。

計画担当者は、ダッシュボードを使うことで、変更によるパフォーマンスへの影響の度合いを即座に評価して、スケジュールを計画目標に合致させるために必要なアクションを取ることができます。次のようなコストや所要時間などのパフォーマンス評価指標を動的に測定することができます。

- 生産
- チェンジオーバー(切替え)
- 段取り
- ダウンタイム(スラック、アイドルング、定置洗浄(CIP)を含む)

可視化—コミュニケーションとコラボレーションを改善する

組織内の関係者やサプライヤ、さらには顧客との間で、製品に関する情報を共有することの重要性は高まっています。Production Schedulingは、バッチや処理ステップ、特定オーダーの詳細などの情報を含めた生産スケジュール全体をガントチャート形式で表示し、すべての関係者がインターネットでアクセスできるようにします。

関係者全員が最新かつ正確な情報をもとに重要な意思決定を行えるようになれば、顧客サービスを改善し、利益を最大化し、腐敗によるロスを最小限に抑えることができます。また、特定の生産オペレーションのスケジュールを確認するために、パーソナライズされたビューを設定することも可能です。さらに、Production Schedulingのパワフルなフィルター検索機能を使えば、特定のラインアイテムをすばやく見つけ出すことができます。

可視性が高まれば、工場を完全にコントロールし、生産、サービス、収益性における目に見える改善効果を手に入れることができます。そしてユーザーは、必要な時に確実な情報を手に入れて、優れた意思決定をスピーディに実行できるようになります。

図3



あらかじめ用意されたインタラクティブなパフォーマンスダッシュボード

利益改善成果を実感する

Infor Production Schedulingを導入されたお客様は、次のような利益改善効果を手に入れています：

- 納期遵守率を最大5%改善
- チェンジオーバー(切替え)によるロスタイムを約30%削減
- 20%以上のサイクルタイムを短縮
- 最大10%の生産コストを削減
- 10~40%の設備稼働率とスループットを改善

Infor Production Schedulingがあれば、生産資源を最適化してコストを削減し、パフォーマンスを改善して、売上を伸ばすために必要なツールを手に入れることができます。

infor

インフォアは、業界特化型のビジネスアプリケーションをクラウドで提供しています。17,000人の社員が、170か国以上で68,000以上のお客様を支援しています。インフォアのソフトウェアは、お客様の業務の進化に向けたデザインとなっています。